

「看取りについて」 伊藤 章先生



平成25年9月28日(土)、生野区民センターにおいて、第4回の介護研修会が開催されました。講師に弘善会クリニックの伊藤 章院長を招聘し、テーマ「看取りについて」の講演をして頂きました。ドクターの立場から“緩和ケアとは何なのか？”から始まり、悪性疾患(癌)と非悪性疾患との看取りの違い。伊藤先生の看取り患者の傾向などを、医学の分からない方でも理解できるよう丁寧に説明して頂きました。先生の経験では、悪性の場合では、緩和ケアも痛みからの解放が中心、平均看取り期間64.3日、平均寿命74歳、非悪性では症状緩和の対処療法が中心、18.2ヶ月、87歳という明らかな違いがあるとの事でした。

質疑応答では、実際に94歳のアルツハイマーのお母さんを看取り介護していらっしゃる娘さんから、しっかりしている時に、葬儀の話はしたけど終末医療の話をしなかったが悔やまれる。母はどうしてほしいのか？どうしたらいいのか悩んでいますとの質問に、先生は、「自宅で過ごすと言う事が、それだけで十分幸せな事なんですよ。」と家族さんに寄り添うようにおっしゃったのが、とても印象的でした。

